



赤い羽根共同募金

毎年10月1日から全国で一斉スタートする赤い羽根共同募金。「赤い羽根」は俳句の秋の季語でもあり、募金でもらえる赤い羽根飾りは季節の風物詩となっています。アウルコート真駒内では開設当初から募金に協力し、今秋もふくろうたちが赤い羽根を胸に飾りました。

共同募金は戦後復興の国民助け合い運動として1947(昭和22)年に始まり、その翌年に赤い羽根が街頭募金の寄付済証として登場しました。現在は地域福祉の推進を目的とし、集められた浄財はさまざまな課題解決に取り組む民間の地域福祉団体の支援に活用されています。

全国で多くの方々が「じぶんの町を良くするしくみ」として共同募金に取り組まれています。私たちも同じ志で、地域の皆様とのお付き合いを大切に、入居者様が安心して暮らせるよう貢献していきたいと思っています。



◀▲昼寝で体力を充填し、来客時にはキリリと営業活動モードに入るりこ

スタッフ **リレーエッセー**

愛読者の皆様へ

朝・夕はすっかり冷え込むようになりましたが、体調を崩されてはいませんか？

令和4年12月に就職いたしました介護職員の小田成利と申します。働き始めて1年近く経とうとしています。ここまで働けてこれたのは入居者様や他のスタッフの皆さんのおかげだと思っています。心より感謝いたします。



介護職員 小田 成利

最近では空気が乾燥し始め、コロナウイルスやノロウイルスといったウイルスが活発になる季節となりました。体調を崩さないようくれぐれもお体をお大事になさってください。

まだまだ未熟者の私ですが、これからどうぞよろしく願いいたします。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)
アウルコート真駒内
 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
 TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関 ●地下鉄南北線「真駒内」駅下車
 ●じょうつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



今年のニュース

代表取締役 武田 治信

今年も早や残り2カ月となり、今年のニュースを少し振り返ってみました。

お正月は恒例の一般参賀が3年ぶりに開かれ、9,600人が当選し参賀されました。3月のワールドベースボールクラシックでは、日本が3大会ぶり3度目の優勝を果たしました。4月1日には「こども家庭庁」が発足し、こどもと家庭の福祉向上を目指します。また、民法が改正になり成年年齢が20歳から18歳へと変更になりました。9月、新型コロナウイルスの内服薬として、待望の保険適用となる薬が一般流通開始となり、10月には新型コロナウイルスワクチンとして、日本や世界で広く使われた「メッセンジャーRNA (mRNA)」ワクチンの開発に携わったドリュー・ワイスマン氏とカタリン・カリコ氏がノーベル生理学・医学賞に選ば

れました。mRNAワクチンは病原体の遺伝情報であるmRNAを利用するタイプで、新型コロナワクチンが初めての実用化例とのことでした。

そして、こうしたニュースを、朝に夕に、新聞から読み取る日常が、今年の9月30日の北海道新聞夕刊廃止で変わりました。1942年の道新創刊当初から発行されてきた夕刊の歴史は、81年目で閉じられたのです。紙代の値上げなどによる負担増や、読者のライフスタイルの変化が廃刊の理由とされていますが、夕刊の発行部数は、全国の地方紙では最多を維持していたとのことでした。

夕闇が迫るころ、自宅のポストを覗いてしまい、「あっ、ないんだ」と気づくアナログ派の喪失感はまだ続きそうです。



挑む紅、受ける白

白、白、紅、白。令和になってからの大運動会の成績です。今では恒例となった紅白対抗戦の大運動会は2010年が初開催。第14回となる今年は10月7日(土)に行われました。さて、勝利の行方はどちらに？

競技減でも白熱

大運動会は昼食からスタート。行事食でエネルギーを補給し、はちまきを締めれば、皆さん準備万端です。開会宣言の後、昨年の優勝の白組キャプテンとMVPがトロフィーを返還。参加者全員で選手宣誓を読み上げ、拍手と共に戦いの火蓋が落とされました。

ラジオ体操第二で身体を温めてから、いよいよ最初の競技、釣りゲーム。磁石で職員の顔写真を釣り、記載の得点数を競います。意外な人物が高得点で沸く会場。80対75の僅差で白組1ポイント先取です。

続いて、職員対抗尻相撲。上司と戦う同じ課同士の取組に

は「付度、付度！」の聲が上がって皆さん大笑い。こちらも白組が勝ち、2ポイントとなります。

接戦に大興奮

次は初めての競技、輪渡しゲーム。割り箸で輪を手渡す座位でできるリレーで、ようやく紅組が1ポイント返します。

最後の大玉リレーでは白組が勝ち、紅組キャプテンが「もう一戦！」と嘆願。残念ながらその勝負にも白が勝ち、今年も白組の優勝となりました。MVPは再戦を熱く訴えた紅組キャプテンに贈られました。

入居者様の加齢に合わせ、競技の数や内容を見直し、「これまでで一番小さくて静か」の職員評でしたが、閉会後は入居者様からは「参加できてうれしかった」「楽しかった」の声をいただくことができました。



参加を喜び、競争にワクワク

齢を重ねても熱気変わらぬ大運動会



アウルの四季彩々日記



●8/5(土)

お祭り気分を満喫

今年も恒例の夏まつりを開催。いなり寿司やおでんなどの昼食でお祭り感を盛り上げて、縁日の食べ物やゲームを楽しみました。締めめの盆踊りでは「太鼓を叩いてみたい」と入居者様が挑戦されるひとこまもありました。



●9/16(土)

喫茶で「お久しぶり」

9月はコロナで数名が療養されたため対面接触を一時的に制限。解除後初の行事となったアウル喫茶では「お久しぶりね」の挨拶が交わされました。六花亭の「百歳」をお茶菓子に、普段の生活に戻ったことを喜び合いました。

●10/11(水)

完売御礼のパン屋さん

6月から就労継続支援B型事業所「鶴の郷」が運営する「つるのぱんや」の訪問販売がスタート。3回目の今回もすぐに完売となりました。道産食材と製法にこだわったパンで、障がいのある方の支援もでき、おいしさ倍増です。

